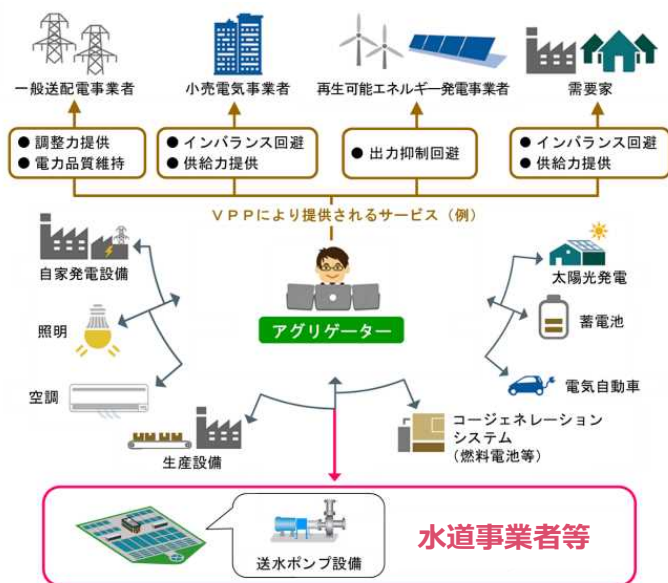


脱炭素社会の実現に向けた水道事業の新たな取組 仮想発電所事業（VPP）への参画

浄水池等の調整能力（貯留量）を活用し、ポンプ設備を部分的に稼働・停止させることで調整力を生みだし、生み出した調整力をアグリゲーターへ提供することでVPP事業へ参画する。

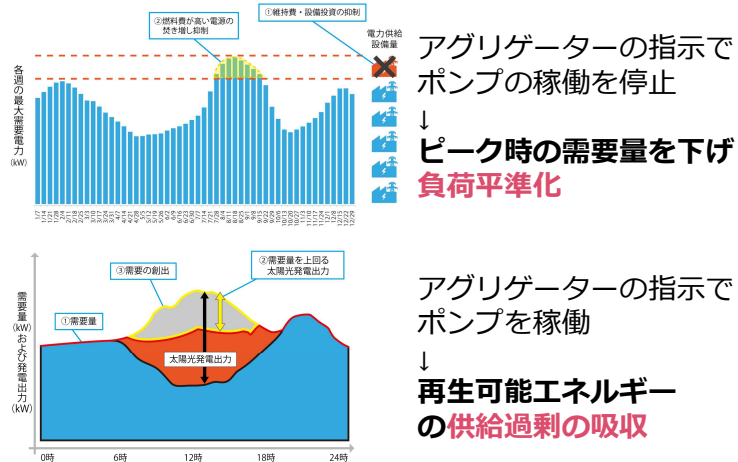


（出典：経済産業省資源エネルギー庁ホームページによる図を一部加工）

VPP

- Virtual Power Plant=バーチャルパワープラント（仮想発電所）
- 電力の需要家側の電気使用量の増減、再生可能エネルギー発電設備及び蓄電池等のエネルギーリソースを束ねて**あたかも一つの発電所**のように機能させるもの。
- 負荷平準化**や**再生可能エネルギーの供給過剰の吸収**、**電力不足時の供給**などの機能として電力システムで活躍することが期待されている。

アグリゲーター：需要家の電力需要を束ねて効果的にエネルギーマネジメントサービスを提供するVPP事業者



期待される効果

- 再生可能エネルギーの導入拡大への貢献
- 電力安定供給への貢献
- 提供した調整力の実績に応じた報酬によって持続的な経営に必要な財政基盤の強化を図る